

日本医学会公開シンポジウム

The Japanese Association of Medical Sciences Symposium

平成30年12月11日(火) 13:00
17:00

入場無料
事前登録制

日本医師会館 大講堂

〒113-8621
東京都文京区本駒込2-28-16

適切な

遺伝学用語のあり方

13:00 開会の挨拶

門田 守人(日本医学会長)

13:05 挨拶

脊山 洋右(医学用語管理委員会委員長/医学中央雑誌刊行会理事長)

13:10 遺伝学用語改訂に関するワーキンググループからの報告

辻 省次(国際医療福祉大学大学院・医学部教授, ゲノム医学研究所長/東京大学大学院医学系研究科寄附講座 分子神経学講座 特任教授)

I 遺伝学用語に関する関連学会の取り組み

座長 辻 省次(国際医療福祉大学大学院・医学部教授, ゲノム医学研究所長 東京大学大学院医学系研究科寄附講座 分子神経学講座 特任教授)

13:25 1. 日本遺伝学会における遺伝学用語検討

柗屋 啓志(日本遺伝学会幹事, 遺伝学教育用語検討委員会/理化学研究所バイオリソース研究センター 統合情報開発室)

13:40 2. 遺伝用語に対する日本人類遺伝学会の取り組み

櫻井 晃洋(日本人類遺伝学会理事/札幌医科大学医学部遺伝医学教授)

13:55 3. 日本神経学会における遺伝学用語検討

戸田 達史(日本神経学会代表理事/東京大学大学院医学系研究科教授 神経内科学)

II 遺伝学用語に対する各界からの提言

座長 久具 宏司(日本産科婦人科学会教育委員会委員・用語委員会副委員長/都立墨東病院産婦人科部長)

14:10 4. 用語のあり方について—医学系学会の立場から—

坂井 建雄(日本医史学会理事長/順天堂大学医学部解剖学・生体構造科学教授)

14:25 5. 「優性」「劣性」はなぜ問題化したのか—日本語史的分析—

田中 牧郎(明治大学国際日本学部教授)

14:40 6. 新聞記者の立場から

瀬川 茂子(朝日新聞編集委員)

14:55 7. 科学メディアの立場から

青野 由利(毎日新聞論説室専門編集委員)

15:10 8. 当事者に必要な遺伝用語と基礎知識

太宰 牧子(一般社団法人ゲノム医療当事者団体連合会/NPO法人クラヴィス アルクス)

15:25 9. 中等教育の生物分野における遺伝教育の実情

鈴木 恵子(法政大学国際高等学校)

15:40 休憩

15:55 総合討論

司会 辻 省次(国際医療福祉大学大学院・医学部教授, ゲノム医学研究所長/東京大学大学院医学系研究科寄附講座 分子神経学講座 特任教授)

森内 浩幸(日本小児科学会理事(用語小委員会担当)/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 小児科学教授)

16:55 閉会の挨拶

門脇 孝(日本医学会副会長)

17:00 終了

主催 日本医学会

日本医学会公開シンポジウム組織委員 辻 省次

参加費 無料 出席者は討論に参加できます。

参加方法 <3方法> FAX送信・郵便はがき・日本医学会ホームページ登録

(記入項目:氏名、住所、電話、参加者区分)

氏名、住所等の個人情報、は、入場券の送付に使用させていただきます。

第三者に提供することはありません。

入場券 参加申し込み後、10日以内に本会より送付します。

締め切り 先着500名

問い合わせ先 日本医学会 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内

TEL:03-3946-2121(代) FAX:03-3942-6517

URL <http://jams.med.or.jp/>



- JR山手線「駒込駅」南口より徒歩約10分
- 東京メトロ南北線「駒込駅」出口2より徒歩約10分
- 都営地下鉄三田線「千石駅」A3出口より徒歩約5分

生涯教育制度(但し関係者のみ)

参加者は、日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコード9(医療情報)2単位と、0(その他)1単位と、4(医師患者関係)0.5単位の合計3.5単位取得できます。参加の際には、医師登録番号、所属の都市区医師会名をご記入ください。



日本医学会